



学校便り

No. 3

夢・挑戦

令和元年7月19日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

夏休みは「体験」と「読書」を！！

1学期は3年生を中心に、体育大会、郡市中体連など運動面で頑張ってくれました。「二中には勢いある」「二中の風が吹いている」とうれしい言葉を頂きました。中体連陸上もありますが、今後は学力に力を入れ、生徒に確かな学力を身につけていきたいと思えます。

さて、始業式では、①コミュニケーション能力、②準備、③「挨拶・返事・言葉遣い」、「時間・ルール・約束を守る」の3つのことをお願いしました。いかがでしたか。

挨拶については、学校での挨拶はいいが、地域での挨拶、一人の時の挨拶には個人差があるようです。挨拶は、コミュニケーションのきっかけになります。さわやかな挨拶ができる人になってほしいです。

話は変わりますが、人が成長するためには、「自分が体験する」、「他人から学ぶ」、そして、「読書をする」ことの3つが重要ではないかと思えます。夏休みは、時間に余裕がありますので、特に「自分が体験する」「読書をする」ことの2つに挑戦してください。

読書についてです。18日の新聞に今年の芥川賞と直木賞の受賞作家が発表されていました。私は高校まで野球に夢中で、本は読書感想文の宿題で読むくらいでした。しかし、時間があつた大学時代、色々と悩むことがありました。残念ながら自分自身では解決できませんでした。そんな時、自然と読書を始めました。教科書に出てくる太宰 治、武者小路実篤や芥川賞作家の本を、2～3日に1冊のペースで読みました。もっと早く読書すれば良かったと後悔しました。ちなみに昨年は1年間で約80冊読みました。

昨日の生徒集会で、保健委員会が発表したスマートフォンの時間が問題になっていました。読書の楽しさを知ると人生がさらに豊



かになると思えます。夏休みは、1日30分でも読書の時間を作ってください。

夢に向かって挑戦する

夏休みは、各高校でオープンスクールが予定されています。3年生は、これまで住んでいた地区の小学校・中学校に通学してきましたが、初めて自分で選択して高校に進学することになります。その一方で、毎年約2%の生徒(約50人に1人)が高校を中途退学し、また、新卒で就職した人の約3割が3年以内に仕事を辞めています。(約3人に1人)

さらに、今年、小学校に入学した1年生が就職をする頃は、今はない仕事に半数以上就いているとも言われています。

自分がやりたい事や将来の職業は、急に見つかるものではありません。勉強やスポーツ、趣味、特技など様々なものに挑戦し、行動するうちに、自分がやりたい事や、就きたい職業が見つかると思えます。じっとしていても何も見つかりません。まずは動いてください。

バスケットボールの八村選手が、NBAのドラフト1順目で指名されました。あるテレビ番組で、いつも見ない芸人がゲストで出演していました。なぜ、その芸人が呼ばれたと思われませんか。実は、彼は芸能界一のNBA通だったのです。自分の好きな趣味で仕事が増えた訳です。

最後に、「いつ、どこで学んだか」より「何を、どれだけ学んだか」が大切です。どこの高校に行っても、自分自身の意欲と努力次第で、夢は実現できると思えます。

夏休み、校長室前の花壇の土を掘っている2年生男子を見つけました。花壇に行くと、ミミズを見つけて教室の魚や亀の餌にするということでした。2年教室に行くと、2種類の魚と5百円玉くらいの亀がいました。ミミズをおいしそうにパクパク食べていました。

実は、うちの家にもミドリガメがいて、妻が育てています。2人の子どもが小学生の頃、犬を飼いたいとお願いされましたが認めませんでした。亀ならと言われ、5百円玉くらいだったので認めました。しかし、今は25cmに成長し、リビングを動き回っています。1日1回、亀の餌をつぶして芋とヨーグルトを混ぜて、なんとスプーンで食べさせています。今では、大事な家族の一員です。